

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 人口減少社会に対応したまちづくりについて (60分)</p> <p>少子高齢化の進行により、全国的に人口の自然減が進む中で、右肩上がりの時代とは行政に求められるものが異なる新たな時代に突き進んでいくこととなります。</p> <p>本市の人口は、ここ数年ほぼ横ばい状態で推移しておりますが、今後、時代の影響により、減少に転じることが予想されます。</p> <p>こうした中で、来年度から1年前倒しでスタートする予定の第6次鶴ヶ島市総合計画の策定作業が進められております。</p> <p>私は、これまでの一般質問において、平成24年度に「多世代循環型のまちづくりについて」、平成26年度に「暮らしやすい住環境に基づいた住宅政策について」、また、平成27年度に「人口減少社会における定住促進戦略について」、平成28年度に「人口減少社会における多世代近居・循環型のまちづくりについて」など、複数回にわたり人口減少対策に関する質問を行い、地域内(市内)における同居＝近居(インビジブル・ファミリー)による多世代循環型のまちづくりの促進などを提言させていただきました。</p> <p>これからの人口減少社会に対して、本市としても、将来を見据えた持続可能なまちづくりを進めていく上で、新たな発想、戦略による政策の展開が求められます。</p> <p>来年度からの次期総合計画において、人口減少対策にどのように取り組んでいくのか、以下質問いたします。</p> <p>(1) 想定される人口の推移及びその影響について (2) 定住人口促進に向けた取組について (3) 次世代を育成する支援対策(子育て支援・教育)について (4) 多世代循環型のまちづくりの促進について (5) 地域コミュニティとの連携及び活性化について (6) 地域産業(農商工)の活性化について (7) 公共施設の新設及び統廃合の考え方について (8) 都市政策における公共交通ネットワークの考え方について (9) 将来を見据えた土地利用構想について</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>